

(3) 情報教育研究会 (GIGA スクール)

会 長 濱口 明大 (利岡小)
副 会 長 深原 純一 (中村西中)
管理職・事務部会事務局 久保田 隆一 (東山小)
小学校部会事務局 有田 洋平 (中村南小)
中学校部会事務局 宮西 良輔 (中村西中)

1. 研究主題

「Society5.0時代に生きる子ども達の未来を見据えたGIGAスクール環境の発展的活用の研究」

2. 研究経過

実施年月日	研究のあらまし	会 場	備 考
5月6日(金)	四万十市教育研究会 組織総会 【内容】役員選出、研究主題設定、年間計画策定	中村南小学校	30名参加
四万十市教育研究会 夏季研修会			
8月5日(金)	◆管理職・事務部会 【内容】各校のタブレットの活用について	中村西中学校	9名参加
8月5日(金)	◆小学校部会 【内容】各校のChromebookの活用についての実践 発表と講師による講話 【講師】 二神 真 さん (BRIDGES)	中村南小学校	16名参加
8月23日(火)	◆中学校部会 【内容】リモート配信(遠隔授業の方法や機器について・行事のLIVE配信)について 意見交換	四万十市教育 研究所	4名参加

3. 今年度の取組

5月6日の組織総会において、会員の全体数が多かったため、活動の充実や会場の確保、機器の用意などの運営面における課題を解消するため、3つのグループ(①管理職・事務部会②小学校部会③中学校部会)に分け、研修を計画・実施した。夏季研修会では、それぞれのグループの研究課題に沿った研修ができ、非常に有意義な研修の機会となった。

◆令和4年度 四万十市教育研究会 夏季研修会

①管理職・事務部会

講師に四万十市教育委員会の尾崎さん等にきていただくようにしていたが、四万十市の人権教育研究大会の準備のため、急遽、会員だけで、各校で管理職や事務職員として、タブレットの校務での活用や学級担任(授業者)としての活用状況等について紹介し合うなどして、研修を行った。



◆感想等(○成果 ●課題※現状の困り具合も含む)

- 各校の授業での使用状況や、学校としての状況が知ることができて良かった。
- 学校の規模により使用する条件(W i - F i が全家庭にあるか等)は異なるが現状についての確認ができた。
- フォームアプリを使ったアンケートの作成・実施など、今後各校で求められるであろうスキルについて認識を深めることができた。
- せっかくのツールを便利なものとして、前向きに使っていくことが今は大事なのだと感じた。
- デジタル教科書やA Iドリルなどについての各校の取組状況について、情報交換を行うことができたので、「個別最適な学び」と「協働的な学び」に向けての、今後の参考となった。
- G I G Aや校務支援システムの導入などにおいて、授業におけるI C Tの活用や業務の効率化などが図れ、大変良いのだが、それに伴う登録の準備や操作の仕方の説明など、管理職が行う業務も増え、困っていることなども共有できたことが良かった。
- 各校の取組の現状を知ることができて参考になった。
- 授業の中でのタブレットの活用法を聞くことができたので、取り入れていきたい。
- 各校の取組を聞く中で、自校や自分の授業でも取り入れられそうな実践もあったので、取り組んでみようという気持ちになった。
- 各校の活用の方法等を交流することができたことはよかったと思う。
- 前年度のクラスルームの処理の仕方等、学校でのルールと市全体のルールの区別が曖昧なところがある。
- 外部のメール、グループウェア、サイボウズなど受信方法が複数あるために煩雑さを感じている。
- 各校の事例をもっと知りたかった。
- サークルの中でも情報を共有できる場(共有ドライブ等)があるとよい。
- 各校が試行錯誤の段階であるように感じたが、行政側は伝えたことや要望したことは各校ともできる前提で進んでいる。
- 午後の研修の都合で仕方ないが、講師がいればもっと詳しい話を聞くことができたのでは、と残念だった。
- 自身がICTに堪能でないので、取り入れようと思ってもつい二の足を踏んでしまうところがある。また不慣れなので何をするにも時間がかかってしまう。困った時や活用したいと思った時のサポート体制(エントランスさんはいるが)、アンケート類等はひな形を研究所等で作成しデータを回してくれる等の時間削減の工夫ができると助かるのではないか。
- 教頭として、職員会、校内研のペーパーレス化を図っているが、人によってタブレット等の活用に慣れ不慣れがあるので、スムーズに進まない悩みもある。また、ペーパーレス化を進めているが、支援員さんはタブレットがないので紙媒体になる。ペーパーレス化することによって、大切なことが確認されず見逃していることが考えられる。
- タブレット、GW、サイボウズと、3つ確認しなければいけないのが煩わしいが、外部からのメール等はサイボウズにならざるを得ないので、一元化は難しい。

②小学校部会

(1) 研修① 実践発表・交流 (8校から実践発表)

本部会所属の市内各小学校でどのように Chromebook を活用しているか実践発表を行い、交流した。

研修② 講話・演習 講師：二神 真 さん (BRIDGES)

組織総会後の分科会で話し合われた希望する研修内容を事前に講師にお伝えし、その内容に沿った講話・演習を行っていただいた。また、実践発表にも触れながら講話をしていただいた。

(2) 研修の感想

- ・実践交流では、各学校の取組を知ることができ、具体的な単元の、どの部分で活用したのかが分かり、とても参考になりました。
- ・様々なサイトやアプリケーションの紹介、実践事例や参考事例の共有、実際にクラスルームに参加することでの活用などとても参考になりました。
- ・講師の二神さんのお話も、段階に応じてこれから活用できるものの紹介がたくさんあったのでよかったです。使いたくてもどう準備すればいいのか分からないこともあったので、実際にデータとして共有いただけたのがありがたいです。
- ・校内だけの情報共有では情報の幅がどうしてもせまく、今までの活用から少しずつ広がっていただけになってしまいます。今回のように他校、または外部の方からたくさんの情報や活用事例をいただくことは大変参考になります。
- ・今後の ICT 活用に見通しが持てる研修でした。
- ・来年度のサークル活動では Google アプリの細かい操作の仕方や活用についてより詳しく学ぶことができれば自分が指導する際にもスムーズにできると思います。



③中学校部会

(1) Chromebook を使ったリモート配信について研修を行った。USB キャプチャボードを使用し、ビデオカメラと Chromebook を接続し、ビデオカメラを WEB カメラとして使用方法を学んだ。

(2) 研修の感想

○WEB カメラを使用しての、リモート配信の方法を学ぶことができた。また、安価なキャプチャボードで、既存のビデオカメラを WEB カメラとして活用でき、ズーム操作などで視聴者に分かりやすく配信することができることを学んだ。

○Google meet やクラスルームを活用して配信を行うことで、簡単に行事や授業を生徒に配信することができることを知ることができてよかった。

○WEB カメラの映像が配信者の画面では反転して映る現象について、Chrome の拡張機能を使用することで補正できることが分かった。

○YouTube を活用した配信についても、研修を行い会員間で学び合うことができた。より大人数を対象とした配信について活用することでスムーズな配信ができそうだった。



4. 今年度の成果と課題

組織総会後の分科会で、部会ごとに希望する研修内容について話し合い、それに基づいて講師の選定、研修内容の企画立案、実施ができたことが良かった。それにより、各会員の希望に沿った研修となり、すべての会員にとって学びのある研修会になったことが成果である。来年度も引き続きこのような取組を続け、より充実した研修としていきたい。